

会 議 録

会議の名称	第11回特別支援ネットワーク協議会
事務局	小金井市福祉保健部障害福祉課
開催日時	平成25年3月18日(月) 午後3時から午後5時まで
開催場所	小金井市前原暫定集会施設 A会議室
出席者 (26名)	<p>委 員 佐久間育子(福祉保健部長) 深澤 義信(子ども家庭部長) 尾上 明彦(学校教育部長) 高橋 啓之(企画政策課長) 堀池 浩二(障害福祉課長) 阿部 智美(健康課長) 高橋 正恵(子育て支援課長) 鈴木 遵矢(保育課長) 高橋 茂夫(児童青少年課長) 関 次郎(庶務課長) 前島 賢(学務課長) 河合 雅彦(指導室長) 天野 文隆(生涯学習課長) 坂口 昇平(小金井特別支援学校長) 渡邊 孝之(私立幼稚園協会代表) 鈴木 律子(民間保育園園長会代表) 道城まゆみ(PTA連合会代表) 神山 利恵(特別支援学級保護者会代表) 斎藤 修(障害者就労支援センター所長) 村岡 輝一(障害者福祉センター所長) 高橋 智(東京学芸大学教授) 高橋 信子(公募市民) 小幡 美穂(公募市民)</p> <p>臨時委員 尾島 聖子(小金井特別支援学校保護者) 大山 文子(ピノキオ幼児園保護者) 小川 瑠美(元第一中学校通級指導学級I組保護者)</p> <p>事務局 藤井 知文(障害福祉係長) 高田 明良(相談支援係長) 北村奈美子(障害福祉係主任)</p>
傍聴の可否	(可) ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	4人
傍聴不可等の理由等	なし
会議次第	1 あいさつ 2 報告 (1) 障害福祉課の課名変更について(障害福祉課) (2) 発達支援事業について(障害福祉課) 3 議題

	<p>(1) 協議 ア 平成24年度の特別支援等の取組の成果と課題(各課報告) イ その他</p> <p>4 事務連絡</p>
<p>主な発言 要旨</p>	<p>1 あいさつ(佐久間福祉保健部長) 今回の協議会は例年2月に開催しているところであるが、市議会議員選挙の関係で議会日程が繰り上がったため3月に開催することとなった。 2月の議会で本年10月から開設される小金井市児童発達支援センター条例が可決されたことをご報告申し上げます。 今回の協議会は7月に各課から報告した平成24年度の特別支援等の取組について、その成果と課題についてご報告する。今後とも本協議会の円滑な運営にご指導ご協力いただきたい。本日はよろしくお願ひしたい。</p> <p>2 報告 【堀池障害福祉課長】 (1) 障害福祉課の課名変更について 平成25年4月より障害福祉課の課名を自立生活支援課に変更することとした。理由は、4月から発達支援事業を所管することに伴い、平成25年10月開所予定の「小金井市児童発達支援センター」を障がい受容が困難な保護者等へ配慮し誰もが利用しやすい施設にすること、また障がいの有無に関わらず地域における自立生活を支援する体制を強化するための2つの意図からである。関係団体・機関へは後日文書をもって周知する予定であるのでご理解いただきたい。 (2) 発達支援事業について 小金井市児童発達支援センター事業詳細計画(資料4)及びさくらシート(資料5)を基に説明。 本日配布したさくらシートの表紙及び裏表紙のデザインについては、まだ決定したものではなく調整中である。 さくらシートの名称の決定経過について。2月19日開催の発達支援事業意見交換会で名称募集の告知をした。6件の応募があり、検討部会において協議を行い、さくらシートに決定した。主な理由はさくらが市の花であること、また一般的にさくらの花が、入園・入学・就職といった新しい門出をイメージする花であることから、このシートを利用される方々にとって、新しい支援、サポートへつながっていくスタート、きっかけとなるようにとの意味を込めたものである。 なお、3月15日号市報や市ホームページでお知らせしているが、児童発達支援センターの愛称を募集している。周知についてご協力をよろしくお願ひしたい。</p> <p>3 議題についての協議</p>

主な発言
要旨

ア 平成24年度の特別支援等の取組の成果と課題
各課から報告を行った。(資料3)

【議長：佐久間福祉保健部長】

ご意見、ご質問等ございますか。

【小幡委員】

特別支援教育学習指導員と特別支援教育支援員の違いは何か。通級に通えるかどうかその後の検討状況は。

【河合指導室長】

学習指導員は通常学級にいる知的障害がいではない発達障がいのある子ども達に対する担任の支援に補助的に関わっている。例えば横に座ったりして学習を指導している。

教育支援員は小学校に2名、中学校に1名、一日学校にしながら日常的な介助や学習支援等、総合的な支援が出来る体制となっている。

通級について、就学支援委員会で特別支援学級、固定学級と判断された方々には、保護者の希望で通級の学級に就学した場合は障がいの種別が異なることから、正式な通級とはしていない状況。発達等により改善され、通常の学級に適応していても正式な通級ができない状況を改善し、継続相談を実施しなくなった児童・生徒については、入級指導委員会を経て正式に通級指導学級に入級できるような変更をします。

【小幡委員】

学校への周知はこれからか。

【河合指導室長】

そうです。

【高橋信子委員】

学習指導員、教育支援員の研修はあるのか。任期途中で変更ということもあったようだ。支援員の支援というものが無いと資質向上は難しいのではないか。

【河合指導室長】

ひとつのところに集まって研修事業を行うというよりは、学校に出向いた際にその子の状況を聞きながら、実際に活動しながらやっていくというかたち。一人ひとり状況が違うので担任と一緒にその子にあった支援をしている。

【議長：佐久間】

その他に何かありますか。

【高橋信子委員】

2点質問したい。1点目は4月から一中に固定級と情緒固定級ができるが、その進捗状況を聞きたい。2点目は就学支援シートが先生方から使いづらい、保護者からも書きづらいという声があることについて、今後、変更を考えられているかどうかお聞きしたい。

【関庶務課長】

1点目は施設面のご質問か。

【高橋信子委員】

主な発言
要旨

保護者から理解が得られているかどうか等。

【河合指導室長】

一中の固定学級を作るにあたり、ご存知のように1年間かけて説明会を開く等して準備を進めてきた。来年度に向けて保護者の希望を伺いながら固定学級・知的については1クラス、情緒についても1クラス設置し、施設についても4月1日の開設に向け順調に準備を進めている。

【前島学務課長】

就学支援シートについては、書きづらいという方もいるのではないかと。順位というものがあり、逆に東京都の狙いだったのではと思われる。先生方というのはどういった方か。具体的にどういった内容か。どういう意味で書きにくいのかわからない。保護者の方と一緒に作るから書きにくいのか。どうやって書いたらいいのかがわからないのか。

【高橋信子委員】

幼稚園の先生。何の説明もなく園に送られてきたと聞く。

【前島学務課長】

教育委員会から園に説明はしている。園の中での情報共有の問題があるのかもしれない。

【小幡委員】

私は就学支援シートを書いたことがあるが、いろいろな内容があっただけでどういった部分を学校が知りたいのか、そこから前に進まなくなった。

別の話になるが、就学相談に関しての説明会は前々から市民から実施してほしいという声があったが、どうなっているか。

【前島学務課長】

24年度に入ってから意見交換会でも話が出ていたが、他の自治体でもやっているところがあるので調査をした。就学相談で手いっぱいであったが、25年度になんとかやっていきたいという思いはある。

【小幡委員】

7月には就学相談が始まる。受けようか迷っている人にどんなものかわかるように一度説明会を開いてほしい。

【議長：佐久間】

他にありますか。

【高橋智委員】

子育て支援課の「のびゆく子どもプラン小金井」や、子ども元気プロジェクトの議論の中でも発達支援事業を取り上げていたので、重要な成果として書いていただくとありがたかった。

【高橋子育て支援課長】

今回は特別支援等の取組ということで前回挙げた取組についてのみ書いたが、次回は書くように検討したい。

【高橋信子委員】

障害福祉課の4者連絡会について、18歳以上の発達障害へ

主な発言
要旨

の相談支援体制を整えるにあたっての課題の洗い出しを行っていることを市民は知らないと思う。今回、意見交換会をやってよかったと思うことは、行政がやっていることが市民に見える形で伝わったということ。こういう取組をしているということをもっとアピールしてほしい。18歳以上はどうかと不安を持っている市民も見通しが持ててよい。

【議長：佐久間】

前回の基本的な計画では18歳以上については発達支援センター以外で継続的な支援を実施すると抽象的な書き方をした。そこには予算計上の問題があり、生涯にわたる支援をどこでやるかということを担当課でも協議をしていた。その結果、資料4の9ページ図3にあるように18歳以上については、本人同意のもと小金井市障害者地域自立生活支援センターに引き継ぐことを、ここで明らかにさせていただいた。

25年度予算と児童発達支援センター条例については、本年3月6日に市議会で可決されるまで公にできなかった。

今まで児童発達支援センターで支援を受けていた方だけでなく、学生時代や就職してから対人関係等に苦慮していた原因が発達障がいであったというような方にも相談に足を運んでいただけるようなPRが必要と考えている。

【高橋智委員】

私は地域自立支援協議会に関わっているが、18歳以上は障害者地域自立生活支援センターへつなぐと先日初めて知りほったところ。明日の地域自立支援協議会でも匿名で事例検討を行うので、障害者地域自立生活支援センターとの関わり方をイメージしていただければと思う。

【議長：佐久間】

他になれば各課報告に対する質問を終える。

イ その他

【議長：佐久間】

最初に報告のあった発達支援事業について質問を受けていなかったもので、何かあれば。

【尾島委員】

資料4の14ページ、放課後等デイサービス事業では送迎はどうなっているか。送迎のつく場合が多いと思うが。

【堀池障害福祉課長】

送迎は保護者に行っていただく。

【尾島委員】

以前、児童デイサービスは他の施設を活用して行うとおっしゃっていたが、他の施設と合わせてここでもやるということになったのか。

【堀池障害福祉課長】

2ページにあるように、放課後等デイサービスは、おおむね小学校6年生までとなっている。市内にあるおもちゃライブラリーは中学生、高校生も対象にしているので、そういった施設

と連携していきたい。

【尾島委員】

小学校までは、おもちゃライブラリーと同じような役割をしてくれるということか。

【堀池障害福祉課長】

そういうこと。

【尾島委員】

それでは、ぜひ送迎をつけていただかないと。

【堀池障害福祉課長】

送迎については課題であり検討したい。

【議長：佐久間】

午前中の意見交換会で、小金井市児童発達支援センター事業詳細計画とさくらシートの完成版を初めてお配りしたので、説明はしたが、ご不明なこともあるかと思う。

【斎藤委員】

児童発達支援センターの委託先はどこか。

【堀池障害福祉課長】

3月15日号市報とホームページでプロポーザルのお知らせを行っているところ。

【議長：佐久間】

現在、募集しているところであり、手を挙げていただける事業者については締め切った後でないといけない。選考委員会を経て決定する。

【高橋智委員】

職員配置の件だが、アレルギーを持ったお子さんのため、できれば管理栄養士の配置をお願いしたい。口腔リハビリテーションセンター等、医療的な専門知識を持った方とも連携を。

【議長：佐久間】

詳細計画の41ページに記載がある。東小金井にできた口腔リハビリテーション多摩クリニックが、発達に不安のあるお子さんの摂食障がいについての支援も行っている。出張も行っている。43ページに記載のある関係図の医療機関に含まれると考える。口腔リハビリテーション多摩クリニックには説明をし、今後も連携を密にしていきたい。市の健康課では管理栄養士の配置があり、協力して事故防止に努めていきたい。

【小幡委員】

詳細計画40ページにある（仮称）施設運営協議会は、いつ頃から始動するのか。10月に児童発達支援センターが開設されてからか。

【議長：佐久間】

施設の運営についての協議会であるから、施設ができてからになる。

【小幡委員】

メンバーの選出は。いつ頃決めるのか。

【議長：佐久間】

	<p>5 1 ページに規則の案があるが、組織について第 3 条に記載している。いつ決めるかは明確に決めていない。</p> <p>【議長：佐久間】</p> <p>最後になるが、特別支援ネットワーク協議会と、障がい者施策全般にわたって協議している地域自立支援協議会との関係性については、できれば次回の協議会で一定たたき台をお示しし、本協議会でも協議いただければと考えているのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>他になければ、今日はこれで終了する。ありがとうございました。</p> <p>4 事務連絡（藤井障害福祉係長）</p> <p>1 点目、次回の第 1 2 回特別支援ネットワーク協議会は 5 月の開催予定。準備が出来次第、事務局よりお知らせする。</p> <p>2 点目、委員の再任について。来年度の 1 年間、引き続き各選出区分に応じた委員の就任をご承諾いただきたく、4 月に事務局より依頼文書をお送りするのでよろしくお願ひしたい。人事異動等により委員変更が生じる場合は、後任の方をご選出いただきたい。</p> <p>臨時委員の 4 名の方は引き続きオブザーバー参加ということでご出席いただきたい。</p> <p>市民公募委員の 3 名の方は任期が本年 1 0 月末までとなっている。引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
提出資料	<p>資料 1 小金井市特別支援ネットワーク協議会委員名簿</p> <p>資料 2 第 8 回特別支援ネットワーク協議会会議録</p> <p>資料 3 平成 2 4 年度の特別支援等の取組の成果と課題</p> <p>資料 4 小金井市特別支援ネットワーク協議会設置要綱</p> <p>資料 5 さくらシート</p>